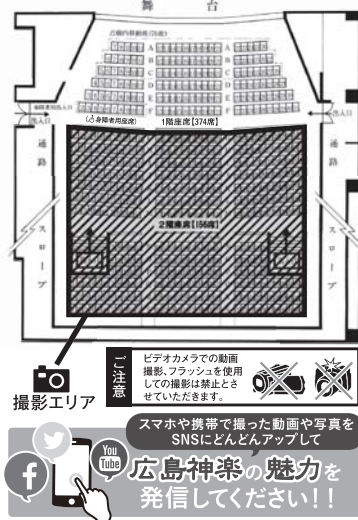


「広島神楽」定期公演へようこそ!

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。



本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。
(1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
(2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
(3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
(4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※**ビデオカメラでの動画撮影、フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

7月4日のタイムスケジュール

出演：梶矢神楽団 (安芸高田市)

19:00～開演

19:05～第一幕『鈴鹿山』

(およそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『勿来の関』

(およそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。
本日の記念に是非ご参加下さい。
また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。
(舞台へは靴を脱いでお上がください。)
※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

かじやかぐらだん

梶矢神楽団プロフィール ～安芸高田市高宮町～

当神楽団は安芸高田市高宮町川根にあり、大元神楽の流れを汲んでいます。神社の古文書には江戸時代中期、現在の島根県邑智郡邑南町の羽須美村阿須那の斎藤宮司と上田の三上宮司より神職神楽を伝授されたと記されています。

以来、戦時中も中断することなく、古典演目を伝承していることが認められ、昭和29年に広島県無形民俗文化財の指定を受けました。(指定演目「鍾馗」)

現在、新しい演目が人気を集めておりますが、団員一丸となって古典演目の伝承に精進してまいります。

第一幕『鈴鹿山』(すずかやま)

摂州・鈴鹿山に鬼人が立てこもり世を乱していました。そのため、時の帝より田村將軍坂上是則に鬼人退治の勅命が下され、是則は鈴鹿山に向かいました。そして麓に辿り着き、里人に鈴鹿山の様子を尋ねると、「鈴鹿山の鬼は、これより下に津野町というが、そこに長屋という大家の子で鬼丸という。寺子屋に通っている時、寺子達に憎まれ額に鬼という字を書かれたのが原因で悪鬼になり万人を悩ませて困っている。」というのです。

是則は里人の案内してもらった通り、山奥の岩屋へと進み大激闘の末、見事鬼人を征伐するという物語です。

尚、この鬼は人の目に見えないため一本の襷(たすき)を引き合い誘導して舞うのが特徴です。

また、この演目は「鈴鹿山」とも「田村」とも呼ばれています。

【出演】

大太鼓	…	長尾	良文	田村將軍坂上是則	…	大久保	俊佑	
小太鼓	…	道庭	晃	里	人	…	神田	光太郎
手打鉦	…	宮口	貴耶	鬼	人	…	行田	雅春
手打鉦	…	道庭	純樹					
笛	…	古太刀	秋貴子					

第二幕『勿来の関』(なこそそのせき)

平安時代後期奥州地方に勢力を張り朝廷に従わない豪族の安倍貞任・宗任兄弟は衰えを知らず、万人を悩ませていました。このため勅命を受けた鎮守府將軍・八幡太郎源義家は、安倍兄弟の侵攻に向かいました。

その途中、安達原で出会った馬子の藤太に道案内を乞うと、逆に近頃しきりに出没する鬼女を退治してほしいと頼まれ、これを退治しました。義家は出羽の豪族・清原武則の援助を得ながら石清水八幡のご神徳をもって、強敵を征伐し奥州を平定しました。

義家が奥州下向の途中「勿来の関」で『吹く風を 勿来の関と 思えども 道も背に散る 山桜かな』の名歌を詠じたことは有名です。

【出演】

大太鼓	…	上田	正幸	阿倍貞任	…	徳物	一則	馬子の藤太	…	行田	雅春
小太鼓	…	宮口	貴耶	阿倍宗任	…	行田	雅春	鬼女	…	神田	光太郎
手打鉦	…	道庭	晃	八幡太郎源義家	…	柴野	竜二	姫	…	柴野	利成
手打鉦	…	道庭	純樹	清原武則	…	大久保	俊佑				
笛	…	古太刀	秋貴子								

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。